



NEWS RELEASE

2009年3月23日

景気の急激な落ち込みにより価格設定の見直し、航空運賃の上昇基調に驚り ～業務渡航の維持に向けビジネス・トラベル・マネジメント(BTM)への需要増加～

アメリカン・エクスプレス・インターナショナル, Inc. (東京都杉並区/日本社長:ロバート・サイデル)は、本日、最新の「アメリカン・エクスプレス・アジア・パシフィック・ビジネス・トラベル・モニター」を発表しました。2008年第4四半期(2008年10月～12月)のアジア太平洋地域の正規航空運賃は、急速に景気後退局面を迎え、運賃の上昇基調に驚りが出始めたことを明らかにしました。

アメリカン・エクスプレス業務渡航部門のアドバイザー・サービス部アジア太平洋地域担当部長のジョナス・ボーグリン(Jonas Borglin)は、今回の発表を受け、次のようにコメントしています。「2008年上半期の経済は堅調であり、航空各社は渡航先や旅客クラスを問わず運賃の値上げを実施しました。しかし、景気の低迷を受け、航空会社は乗客確保に向けて価格戦略の見直しを迫られ、その結果、第4四半期には運賃が横ばいもしくは下落傾向に転じました。」

なかでも目立ったのがビジネスクラスの正規割引運賃で、2008年第3四半期(2008年7月～9月)に比べ6%下落しており、航空各社が企業の業務渡航費用の削減を考慮した価格戦略を取ったことが窺えます。

「多くの企業にとって、出張・交際費は二番目に大きな経費項目であり、不況の影響を最初に受ける項目の1つです。航空各社は、業務渡航者数の減少に歯止めをかけるため、企業向けに価格設定の引き下げを行っています。運賃の下落傾向は、様々な渡航先や旅客クラスにおいて見られ、この傾向は2009年にまでずれ込んでおり、業務渡航者にとっては利用しやすい価格設定になっています。」

一方で、「経済危機の規模があまりに大きいため、大手航空会社のなかには便数を削減する動きもあり、このため今後価格が安定する可能性がある」とも警告しています。日本の航空会社においても、不採算な路線を整理する動きが既に出ています。

航空各社は販売促進のために価格設定を見直しやプロモーションを展開することで、乗客の獲得を押し進めています。単純に業務渡航の頻度を減らすことに難色を示す企業の多くは、このような航空券を利用した業務渡航費用の削減方法を模索しており、企業の出張関連業務を専門に請負うビジネス・トラベル・マネジメント(BTM)専門会社への需要が高まっています。

「企業は業務渡航費用において厳しい制限のもと、徹底したコスト削減を行っている一方で、業務渡航は、景気の良し悪しに関わらず、企業の成長に欠かせないものです。このことは企業の経営陣にとって大きな課題となっており、コスト削減を達成するためにどのような管理体制を敷くべきかアドバイスを必要としています。実際、アメリカン・エクスプレスのアジア太平洋地域の業務渡航部門においても業務渡航費の最適化を達成するためのコンサルテーションや専門知識を求める企業からの問い合わせが増加しています。」

国別実績 - 2008年第4四半期(10月～12月)

日本

正規運賃は、前四半期比で平均3%上昇しましたが、国内線の運賃は横ばいのまま推移しています。日本発米国行き運賃は最大の上昇(前四半期比:8%増)を示しています。

興味深いことに、ビジネスクラスの正規普通運賃は、対前年比で23%増を示しているものの、前四半期比で2%の上げに留まりました。

株式会社 日本旅行・アメリカン エクスプレスの代表取締役社長メリンダ・タラントは、この状況について次のようにコメントしています。「2008年第4四半期の稼働率は落ち込んでいますが、航空会社は経営コストを補うため、運賃を極端に下げることはありませんでした。日本では、LCC(格安航空会社)や他の航空会社との競争が穏やかであることも、他国と比べ航空運賃の下落傾向が見られなかったのが理由です。」

オーストラリア

正規運賃は平均して第3四半期(7月～9月)から3%下落。国内線の運賃も前四半期比で3%下がりましたが、ヨーロッパ、中東またはアフリカ行きの運賃に変化はありませんでした。米国行きは、第3四半期より5%下がり、下落幅が最も大きい路線となっています。

「新規航空会社参入の発表により競争が激化し、オーストラリア発米国行きの運賃が下落しました。乗客獲得にしのぎを削る航空会社が増えるなか、乗客獲得に向けて価格戦略を見直して各社はこれに対応しています」とボーグリンは語っています。

中国

アジア太平洋地域全体で平均9%の伸びを示しているのに対し、中国では平均わずか2%の上昇と、中国の運賃の伸びは同全域において前年比最低であったことが明らかになりました。第3四半期に比べ、第4四半期では、全体的な運賃の上昇はわずか1%にすぎませんでした。最大の上昇をみせたのは米国行きの運賃で、第4四半期には6%の伸びを記録しました。

香港

渡航先と旅客クラスの両方で、正規運賃は第4四半期に平均で2%上昇しました。ただし、前年比と比較すると、運賃の上昇基調が弱まっています。

インド

航空業界の競争が沈静化したことを受け、運賃は、第3四半期と比べ平均5%上昇しました。これは、四半期別にみた場合、アジア太平洋地域全体で最大の伸びを示しています。ビジネスクラスの正規普通運賃は10%と前四半期比で最大の上昇を示しました。インド国内線は8%上昇しました。

シンガポール

正規普通運賃は、全般的に2%下落しました。エコノミークラスのコストダウンが最も大きく、前四半期比ではエコノミークラスの正規普通運賃が5%、正規割引運賃が10%下落しました。アジア太平洋域内の運賃も軟調で、前年比6%の上昇に対して、前四半期比には4%下落しました。

「シンガポールは、同地域の金融ハブになっており、航空各社が激しい競争を繰り広げているマーケットです。景気の悪化に伴い、旅行者の減少が見え始めた途端、運賃が下落しました。エコノミークラスの運賃割引は、乗客を取り戻

すための刺激策となり、航空会社の長期的損失を食い止めることが目的でした。しかし、最近になって、国内線が便数を削減すると発表しており、そうなると、この傾向が今後も続くかどうか気になるところです。」

###

経費節減の可能性

「アメリカン・エクスプレス・ビジネス・トラベル・モニター」は、アジア太平洋地域内および同地域発の航空運賃の最新動向を把握し、業務渡航経費として支払われる航空運賃と平均公示運賃の推移を比較・照合するために設計されています。

アメリカン・エクスプレス業務渡航部門のアドバイザリー・サービス部では、企業の業務渡航に関する世界最大のデータベースを活用すると共に、世界で唯一、旅行、購買、決済業務を包括して展開するアメリカン・エクスプレスならではのユニークな立場を最大限活用したサービスを提供しています。各分野の専門家により構成されるコンサルティング・チームは、業務渡航の規定管理、戦略的ソーシング、ビジネス・インテリジェンスに対するアドバイスを提供し、顧客企業の出張業務の最適化に貢献しています。

調査方法

アジア太平洋地域の「アメリカン・エクスプレス・ビジネス・トラベル・モニター」は、アジア太平洋地域における370の都市から世界各国に渡航する便の往復航空運賃を追跡しています。「アメリカン・エクスプレス・ビジネス・トラベル・データベース」に基づき業務渡航利用者の渡航パターンに応じてそれぞれの都市の組合せにはウエイトを用いています。例えば、オーストラリア国内運賃の全体的な変化を示す場合、メルボルン～シドニー間などの需要の高い都市の組合せは、パース～シドニー間の組合せより高いウエイトを用いて、集計しています。その対象は、以下の14カ国です。オーストラリア、中国、香港、インド、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、ニュージーランド、フィリピン、シンガポール、台湾、タイおよびベトナムです。

2008年第4四半期(10月～12月)のレポートでは、2008年12月31日で終了する四半期のデータを集計しています。

アジア太平洋地域の「アメリカン・エクスプレス・ビジネス・トラベル・モニター」の購読には申し込みが必要となります。各都市における詳細レポートは業務渡航部門アドバイザリー・サービス部において取り扱いを行っています。

株式会社 日本旅行・アメリカン エクスプレスについて(www.amex-nta.com)

2001年4月に、アメリカン・エクスプレスと日本旅行の合併会社として設立。企業の出張事務管理業務全般を一括代行するビジネス・トラベル・マネージメント事業を専門に行っています。業種や業態によって異なる企業の出張管理に関するニーズを的確に把握し、幅広いコンサルティングとマネージメントサービスをお届けしています。



アメリカン・エクスプレス 業務渡航部門について

アメリカン・エクスプレスの業務渡航部門は、出張に関する業務の最適化をサポートし、コスト削減、優れたカスタマー・サービス、経費管理を企業に提供しています。140余ヶ国 2,200ヶ所以上に広がるトラベル・サービス拠点を通じ世界最大級の旅行代理店ネットワークを展開し、個人事業主から中小企業、多国籍企業まで、業界随一の予約技術、専門知識を活かした出張管理コンサルティング、オンラインおよびオフラインでの顧客サービスを提供しています。日本では、アメリカン・エクスプレスと日本旅行が合併で設立した株式会社 日本旅行・アメリカン エクスプレスが顧客企業に対しビジネス・トラベル・マネージメント(BTM)事業を展開しています。

アメリカン・エクスプレス・インターナショナル, Inc. について

1850年(嘉永3年)米国ニューヨーク州にて創立。現在クレジットカード、旅行、T/Cなど旅行関連サービスなど、総合的なサービスを全世界で提供しています。日本では、1917年(大正6年)に横浜に支店を開設し、昨年で90周年を迎えました。全世界に広がる独自の加盟店ネットワークと、世界140余カ国、2,200ヶ所以上のトラベル・サービス拠点を通じ、世界中のお客さまに最高品質のサービスを提供しつづけております。